



# 倫理観と国際性を備えた 科学技術者の養成をめざして

グローバル化や価値観の多様化が進む中、社会のあらゆるシーンでさまざまな問題が起きています。科学技術分野の人材育成においても、いかに社会的責任感を養うかが課題となっています。龍谷大学はこれまで、浄土真宗の精神を建学の精神として教育を展開してきました。そして2009年、龍谷大学創立370周年と、理工学部開設20周年を迎えるに当たり、これまでに親しく交流してきた協定校である、カリフォルニア大学デービス校の先生方をお招きし、シンポジウムを開催。倫理観の希薄化が叫ばれる今、大学が果たすべき役割とは何かをともに考えます。ご関心のある方は、ぜひご参加ください。

**10/29** 水 14:00～17:00

龍谷大学 瀬田キャンパス  
4号館209教室 同時通訳を行います

参加無料  
**400**名

基調講演  
14:15～15:00

## 「社会的責任感を培うために 大学教育が果たす役割」

"The contribution of university education toward  
the promotion of social responsibility"

講師／カリフォルニア大学デービス校  
Larry N. Vanderhoef 学長



パネル  
ディスカッション  
15:15～16:30

## 「社会的責任感や仏教に根ざした倫理観を育むために大学教育が果たす役割」

"The role of future university education in promoting social responsibility :  
based on Western and Eastern (Buddhist) senses of ethics"

パネリスト

カリフォルニア大学  
デービス校  
Larry N. Vanderhoef 学長  
Enrique J. Lavernia 工学部長(次期副学長)  
Zuhair Munir 工学部教授(前工学部長)

龍谷大学  
若原 道昭 学長  
四ツ谷 晶二 理工学部長  
大柳 満之 理工学部教授  
(大学院GPプログラム「東洋の倫理観に根ざした国際的技術者養成」代表者)

司会 龍谷大学 塩見 洋一 理工学部教授・理工学部開設20周年記念事業実行委員長

### 平成19年度 文部科学省 大学院教育改革支援プログラムに採択 「東洋の倫理観に根ざした国際的技術者養成」

龍谷大学では、国際的なコミュニケーション能力と仏教に基づいた倫理観を併せ持つ高度な技術者を養成するため、龍谷大学北米拠点(RUBeC)やカリフォルニア大学デービス校での教育を取り入れた国際教育プログラムを展開しています。このプログラムは、大学院教育の質向上に寄与するものとして、文部科学省の平成19年度「大学院教育改革支援プログラム」に採択されました。

### GPとは?

文部科学省は、教育の質を向上させるため、大学等における教育改革の優れたプログラムを選定し、財政的なサポートや幅広い情報提供を行っています。こうした取り組みが「Good Practice (GP)」です。その一つ「大学院教育改革支援プログラム」は、社会のさまざまな分野で活躍する高度な人材の育成をめざす大学院博士課程・修士課程の優れた組織的・体系的な教育取組に対して支援を行い、大学院教育の実質化を推進しようとするものです。

# 倫理観と国際性を備えた 科学技術者の養成をめざして

## シンポジウムの概要

龍谷大学創立370周年と理工学部開設20周年を迎えるに当たり、10余年に亘り大学間包括協力協定を締結してきたカリフォルニア大学デービス校のLarry N. Vanderhoef学長をお招きし、基調講演とパネルディスカッションによるシンポジウムを開催いたします。

現代のグローバル時代において、多様な価値観が互いに尊重されつつある一方で、公的機関、企業、個人における倫理観の希薄化が、様々な事件を誘発しています。このシンポジウムでは、社会的責任や倫理観を人材育成の場でどのように活かし、培うのかを米国を代表するカリフォルニア大学と浄土真宗の精神を建学の精神とする龍谷大学のそれぞれの立場から議論いた

します。Larry N. Vanderhoef学長の基調講演に引き続き、パネルディスカッションでは、カリフォルニア大学デービス校次期副学長のEnrique J. Lavernia工学部長、前工学部長のZuhair Munir教授 (Distinguished Professor) にも加わって頂き、本学の若原道昭学長、四ツ谷晶二理工学部長とともに大学が人材育成を通して、社会に果たす役割をそれぞれの立場から議論します。

なお、このシンポジウムは、文部科学省の大学院教育改革支援プログラム「東洋の倫理観に根ざした国際的技術者養成」の一環として開催し、プログラム代表者の大柳満之教授が、パネルディスカッションの進行役を務めます。

## 講師・パネリスト紹介

### カリフォルニア大学デービス校



#### Larry N. Vanderhoef 学長

1994年カリフォルニア大学デービス校学長に就任。科学研究基金獲得額を米公立大学12位に押し上げる等、大学の発展に貢献。専門分野は植物生化学。PhD。



#### Enrique J. Lavernia 工学部長

カリフォルニア大学アーバイン校教授を経て、2002年カリフォルニア大学デービス校工学部長に就任。2009年同校副学長就任予定。専門分野は無機材料科学。学会賞受賞多数。PhD。



#### Zuhair Munir 工学部教授

1972年カリフォルニア大学デービス校に就任。1998年から研究部門の副学部長を経て2002年まで工学部長を務める。学会賞受賞多数。専門分野は無機材料科学。PhD。

### 龍谷大学



#### 若原 道昭 学長

1982年龍谷大学短期大学部講師に就任。助教授を経て1992年から教授。短期大学部長や副学長を務める。2007年より学長に就任。専門分野は教育哲学。教育学修士。



#### 四ツ谷 晶二 理工学部長

1989年理工学部創設と共に、龍谷大学理工学部教授に就任。2005年理工学部長に選出され、現在に至る。専門分野は数学。理学博士。



#### 大柳 満之 理工学部教授

(大学院GPプログラム「東洋の倫理観に根ざした国際的技術者養成」代表者)

1989年龍谷大学理工学部助手、講師、助教授を経て2001年に教授に就任。学長補佐やRECセンター長を務める。専門分野は無機材料合成化学。工学博士。

## 申込方法

参加を希望される方は、FAXまたはE-mailでお申し込みください。

FAX

本チラシの申込用紙にご記入の上、下記のFAX番号に送信してください。

E-mail

件名「GPシンポジウム参加希望」  
氏名、職業、住所、電話番号、参加希望人数、E-mailアドレスを明記の上、下記のE-mailアドレスに送信してください。

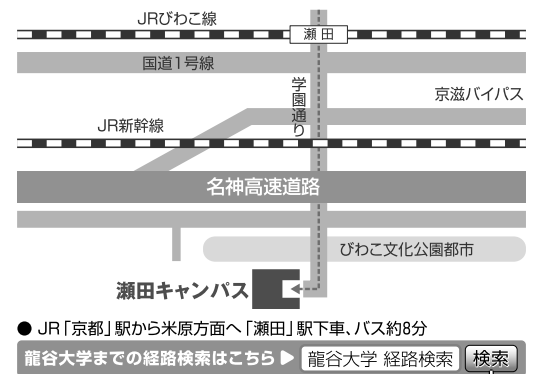
理工学部教務課

FAX 077-543-7749 E-mail rikougp@ad.ryukoku.ac.jp

〒520-2194 大津市瀬田大江町横谷1-5 TEL.077-543-7731

申し込み締切日

10/22水



● JR「京都」駅から米原方面へ「瀬田」駅下車、バス約8分

龍谷大学までの経路検索はこちら ▶ 龍谷大学 経路検索

## 申込用紙 (切り取らずに送信してください)

FAX 077-543-7749

氏名	職業 (いずれかを○で囲んでください)	大学関係・高校関係・一般
住所	電話番号	
参加希望人数	E-mailアドレス	

※ご応募いただいた個人情報は、本学規程に従って厳正に管理いたします。また、本シンポジウムの申込受付以外に使用することはありません。

今後も、理工学部の開設20周年記念イベントを開催予定! どうぞご期待ください。

<http://www.rikou.ryukoku.ac.jp/20th/>

11/1(土)

理工学部20周年記念講演会  
演題/水素エネルギー社会の夢

時間/13:00~15:00(予定)  
講師/福田 健三氏(エネルギー総合工学研究所)

会場/龍谷大学 瀬田キャンパス 1号館107教室  
堂免 一成氏(東京大学工学系研究科教授)